

第3回市民放射線被ばく量調査報告会次第

日時 平成24年11月23日(金)

13時30分～15時30分

場所 二本松市安達公民館集会室

1 開 会

2 あいさつ

二本松市長 三保 恵一

3 放射線外部被ばく量調査結果概要に係る講話・助言及び質疑

「放射線外部被ばく量調査結果、考え方、今後の注意点等について」

講師

東邦大学名誉教授

桂川秀嗣先生

獨協医科大学国際疫学研究室福島分室 室長(准教授)

木村真三先生

4 質疑応答

5 閉 会

《放射線専門家チーム略歴》

桂川秀嗣(ひでつぐ)先生：東邦大学名誉教授。理学博士。

立教大学原子力研究所退職後、東邦大学の各職位を歴任し、平成19年4月より東邦大学名誉教授。最近では、文部科学省が科学技術系人材育成のために指定した学校（スーパーサイエンスハイスクール）において、放射能・放射線に関する講義を行うほか、平成23年11月よりNHKのETV特集の依頼により、阿武隈川水系における放射能汚染調査に取り組む。

木村真三(しんぞう)先生：地球環境学博士。放射線医学総合研究所や労働安全衛生総合研究所勤23年8月より獨協医科大学准教授。福島原発事故発生後の3月15日以降、放射線測定の新規的存在、岡野眞治(まさはる)氏と共に車で福島県内各地を周り、その調査結果は、NHKのETV特集「ネットワークで作る放射能汚染地図」として放映。

チェルノブイリ原発事故によるウクライナ ジトームル州ナロージチ地区住民健康調査中。